

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-38973 (P2004-38973A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-005
 【出願番号】特願 2003-183595 (P2003-183595)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 T 3/00

H 0 4 N 7/18

【F I】

G 0 6 T 3/00 1 0 0

H 0 4 N 7/18 K

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 22 日 (2005.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

次に、ワークテーブル 1 5 0 が生成されて、補正されたイメージ 1 3 0 内のピクセル座標 2 0 1 0 の位置が決定される。図 2 0 に示す通り、このワークテーブルは、垂直軸 Y' と水平軸 X' を有する第 2 の直線座標系を有する。補正されたイメージ 1 3 0 の幅は w' である。以下に詳細に説明するパラメトリックイメージワープ関数およびスケーリング係数を使用して、補正されたイメージ 1 3 0 内のピクセル座標の位置を表わす補正されたイメージ内の位置にピクセル座標 2 0 1 0 が配置される。図 2 0 に示す通り、ワークテーブル内のピクセル座標 2 0 1 0 の位置は補正されたピクセル座標 (x', y') で与えられる。この場合も、 x' は X' 軸に沿ったピクセル座標 2 0 1 0 の水平方向の位置を表わし、また、 y' は Y' 軸に沿ったピクセル座標 2 0 1 0 の垂直方向の位置を表わすことに留意されたい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

補正されたイメージ 1 3 0 は、(広角イメージ 1 1 0 の) ピクセル 2 0 0 0 の位置を補正されたイメージ 1 3 0 内に位置する補正されたピクセル 2 0 2 0 にマップするワークテーブルを使用することによってリアルタイムで生成される。補正されたイメージ 1 3 0 内のピクセル 2 0 0 0 の位置が決定されると、ピクセル 2 0 0 0 の RGB 値を補正されたイメージ 1 3 0 内の補正されたピクセル 2 0 2 0 に適用することができる。このようにして、広角イメージ 1 1 0 をリアルタイムで補正して、広角イメージに一般に付随する歪みおよび他の知覚の問題が実質的にない補正されたイメージ 1 3 0 を生成することができる。